

騷
言
解

23

特34
844

八	さ	あ	て	に	こ	五	り
二	十	九	八	四	二	一	
五	十	丁	丁	丁	丁	丁	
十	丁	丁	丁	丁	丁	丁	
四	十	四	四	四	四	四	
十	十	十	十	十	十	十	
三	十	十	十	十	十	十	
十	十	十	十	十	十	十	

館蔵書會育教本日大				頁
			下	
	二	一	二	
四	冊	號	架	函
				類

四

ふゆごりり
 ○冬ニナレバ万物ミナ
 内ニコモル草木ノ葉
 ナ出サヌニモ云

ふみーだく
 ○フミサクニシタル
 ナトナル踏ミアラスト心得テヨシ

ふーづけ
 ○紫藻ナリ和名抄ニ粟
 ナ訓ム紫ヲ水中ニタ
 テハ魚ヲアツメテ捕
 ル仕掛ナリフシハ紫
 へ神代記ニ紫藻ヲフシカキトヨマセタリ

ふすぶる
 ○蕉ヲヨムモエズニフ
 ツクトイブルヲ云

ふゆごりり
 万葉集
 冬ニナレバ万物ミナ
 内ニコモル草木ノ葉
 ナ出サヌニモ云

ふみーだく
 万葉集
 フミサクニシタル
 ナトナル踏ミアラスト心得テヨシ

ふーづけ
 万葉集
 紫藻ナリ和名抄ニ粟
 ナ訓ム紫ヲ水中ニタ
 テハ魚ヲアツメテ捕
 ル仕掛ナリフシハ紫
 へ神代記ニ紫藻ヲフシカキトヨマセタリ

ふすぶる
 万葉集
 蕉ヲヨムモエズニフ
 ツクトイブルヲ云

冠辭の部

ふぢ表

マドホナ

○藤ノ皮ニテオリシ衣ハオ
 メ荒ク間達ナレ冠ヲ
 セタリ又ハヒツタルハ
 塩焼ラガキルヲガ衣ハ
 塩シミテ馴ルノ故ナリト

ふぢりり

春

○冬ハ万物ミナ内ニコ
 モリテ春氣ヲ得テ張
 リ出ヅ故ニハルト云
 ヒカケタリ

ころも

○轉ビ伏キナリ

○衣ヲカヘシテスレバ

ふぢ表
 万葉集
 藤ノ皮ニテオリシ衣ハ
 メ荒ク間達ナレ冠ヲ
 セタリ又ハヒツタルハ
 塩焼ラガキルヲガ衣ハ
 塩シミテ馴ルノ故ナリト

ふぢりり
 万葉集
 冬ハ万物ミナ内ニコ
 モリテ春氣ヲ得テ張
 リ出ヅ故ニハルト云
 ヒカケタリ

ころも
 万葉集
 轉ビ伏キナリ

衣ヲカヘシテスレバ
 万葉集
 衣ヲカヘシテスレバ

古の部

吾王君の
 万葉集
 吾王君の

衣ヲカヘシテスレバ
 万葉集
 衣ヲカヘシテスレバ

岩根カサナリテケハ
シキル

シキリニノ意コキオ
ロスヤウニト釈スベ
シ又カキミダレト云
意ニモ聞ユ

濤メグルニ万葉ニ漕
轉ノ字ヲアツ

禱祈ヲヨム神ニイノ
リネガフヲ云ノムニ同シ

イロハシキルニノ意コキオ
ロスヤウニト釈スベ
シ又カキミダレト云
意ニモ聞ユ

シキリニノ意コキオ
ロスヤウニト釈スベ
シ又カキミダレト云
意ニモ聞ユ

濤メグルニ万葉ニ漕
轉ノ字ヲアツ

禱祈ヲヨム神ニイノ
リネガフヲ云ノムニ同シ

ハシメの

トタチノ國
在滿ノ説ニ衣手ノヒ
ダトツケシト

冠辞の部

衣手ノヒダトツケシト

タナカミ山

衣手ノ手ヲガキト云
意ニテタナカミト云
ヒカケタル故又衣手ノ手長ニト重ネイヘルナルニ

コトサレ

木幡川是ハトカケシナリ

コトサレ

カラ人ノ言ハコノノ人ノ耳ニハワカサヘギチノミ聞ニレバ云ハリスベテ異雅ニハ昔冠ラセテヨシ

コトサレ

コヨロギノ磯ハ相摸國餘波和伊蘇那ニアリ後ニ大磯小磯ト云サレバコヨロギノイソトカケタルナリ
コユルギハ誤

天の部

テフニ同シトイハ
云ニヲ綴メタルニテ

テフニ同シトイハ
云ニヲ綴メタルニテ

ト云ハバニ上ニ委
シ

ト云ハバニ上ニ委
シ

エビヨ綴リテ

エビヨ綴リテ

テモの

テモの

銚和名天乎乃小十谷
ナリ

銚和名天乎乃小十谷
ナリ

テグノ
繁和名天久流満

テグノ
繁和名天久流満

ナグルマノ宣言アリテテグルマニテ大内ニ出入スルコトヲ得ル

トイフト云ヲ綴メテ
古クハナフト云ト古
今以後轉シテフト
云ハリ何テフハ何ト
イフニ同シ今モ田舎ニハナフトノコトヲ得ル

トイフト云ヲ綴メテ
古クハナフト云ト古
今以後轉シテフト
云ハリ何テフハ何ト
イフニ同シ今モ田舎ニハナフトノコトヲ得ル

テノヒマナク
宜長云スマニハ

テノヒマナク
宜長云スマニハ

安の部

テモの
テノヒマナク
宜長云スマニハ

テモの
テノヒマナク
宜長云スマニハ

「カタキヲ得ガタシ
ト云ニ同シ」

ありのまぶく

○アリノマニニ
○アルトホリニ

ありうず

○定マレル数ナリトノ
説ハアレド星野千之
ハ定マレル外ニ余計
ニアル数ナリト云ヘリ
五葉ノ歌ハ共意ニ同ト

ありへ

○在歴人アリフトモ通
ヘリ

あうぐえ

○ヨソ見ナリ

ありのまぶく

ありうず

ありへ

あうぐえ

ありへ

あうぐえ

あうぐえ
○足接ナリ馬ハ足ニナ
エラカキ走レバム

あう

○開ハヨメハ佛ニ供
スル水ヲ云アカハ水
ノ梵語人アカ井ハ仏
ニ供スル水ヲクム井

あな

○谷ニ「アタララ」シト云
日本地ニ「情ノ字ヲヨ
メリ」

あたら代

○新レキ神代ナリ

あだ

あだ

あうぐえ

あう

あな

あたら代

あだ

あだ

あだ

○あらし
ミアラカハ御在所
宮殿ヲ云ヘリ

○あらし
阿ラハハ疎々ハ脚達
ニ松ノタテル原ノアラレ松原トアルハ誤

○あらし
薄紅ニ染タルシアラ
ソメト云ハ葉ニ桃花
楊ヲアラゾメトヨメリアサチノ衣ハアラハシキ衣也

○あらし
足音ナリ

○あらし
又アコガルトモ云

上長
下
あらし

あらし

あらし

あらし

あらし

あらし

クガルハウカル
アレノ綴
出ハウカレ出ナリ又先達ノ説ニ在丹羅ノトモ云ノリ此考モ捨ガタシ

○あやし
エモイハレズ俗ニ云
不思議ニ

○あやし
ワカチナシ

○あやし
ワカラナイ

○あやし
キスノアヤヨリ出タ
ルコトバニナアヤノ
ワカラヌト云意

○あやし
生憎ヨヨム俗ニ云イ
ガワルケン

○あやし
文印ナリアヤナシノ

あやし

あやし

あやし

あやし

あやし

レト清ミテヨムハ朝暮ナリ

○夜ガ明レバ
あぢなてハ

○火ニテカワカスニ俗
ニ同シ
あぢる

○和名抄ニ初和名阿布
古杖名也ト釋リ大俗
ニ云ナンビン棒ニコ
ノ歌ニテハ逢期アフニ通ハセテヨメリ
あぶ

○アヤカルニ同
あえ

あぢなてハ
あぢる

あぢる
あぢる

あぶ
あぶ

あえ
あえ

○朝明ナリ士清ハ朝氣
人トイヘリ
あさけ

○朝明ナリ深シドクノ
歌ハ五位ノ朱ノ衣ノ
色ニ云ヒカケシム
あさあけ

○朝ニケニト云ニ同シ
日々ト云フナリ
あさなげ

○朝日ニウツリテ見ユ
あさのげ

あさけ
あさけ

あさあけ
あさあけ

あさなげ
あさなげ

あさのげ
あさのげ

ル影ノ如クヤセオト
ロ、フヲ云

あさり

○スナドリ(瀬)ヲ云、イサ
リモ同シ、ア、イ音通サ
リ、無名抄ニ、朝ニ漁ル
ヲアサリト云ヒ、タニ漁ル
ヲイサリト云説アレド、ウケガタシ

あさり

○サガシモトマルト云
新撰字鏡ニ、餵ヲヨム
食ヲ求ムルノ義ト云
ヘリ、漁獵スルヲアサル
ト云ヒ、又史書ヲ廣クヨム
ヲモアサルト云、皆サガシ
求ムルノ意ニ出ツ

あさい
朝寐ナリ

あさい 朝寐ナリ

あさり

あさり

あさり

あさり

あさり

あさり

あさきの桂

○演臣云、フシタキタル
雑木ヲ云フカ、越後
フシクレダチ村木
ニナリガタキホヲ、ア
サキト云トゾ

あま
能ナリ

あゆぐ

○動ク意ト聞ニ、アルク
ト云ニ近シ

あし

○東儀抄ニマシノヨ

あさきの桂

あさきの桂

あさきの桂

あま

あま

あゆぐ

あゆぐ

あし

あづさむ
ハルヒクオト
モトスエヨル
イヅレモヨノ縁ヲモ
テ冠ラセタリ

あらむの

トシツキ

○璞アラタエノ磁ト云
カケタリト云ヘレト
明五(アラタマ)ノ魁シテフ意ニテ年ニ云ヒカケシナルビシト冠辞考ニ見ユ委クハ本書ニツキテ見ベシ
又六人部是者ノ説ハアラハ現ニタタマハ冠間ノ年月ヲ經ル間ヲ云一ツノ詞ナリト委クハ篤証云籤ニ出タリ
ららたへの
コロモフチ井
○荒袴ニテアラキヌノ
ノ衣ト云ヒカク又藤
井藤原ナドニツヅケシハフチ布ノ意ニテ

あらむの
ツチ

あづさむの
ハルヒクオト
モトスエヨル
イヅレモヨノ縁ヲモ
テ冠ラセタリ

あらむの
トシツキ

○璞アラタエノ磁ト云
カケタリト云ヘレト
明五(アラタマ)ノ魁シテフ意ニテ年ニ云ヒカケシナルビシト冠辞考ニ見ユ委クハ本書ニツキテ見ベシ
又六人部是者ノ説ハアラハ現ニタタマハ冠間ノ年月ヲ經ル間ヲ云一ツノ詞ナリト委クハ篤証云籤ニ出タリ
ららたへの
コロモフチ井
○荒袴ニテアラキヌノ
ノ衣ト云ヒカク又藤
井藤原ナドニツヅケシハフチ布ノ意ニテ

あらむの
ツチ

○金ハ土ノ下ニアル物
ナレバ土ノ下ニト云
マデニカ、リタルニ
勝間ニ曰、殿舎根ニテ地ハ殿舎ノ根ナル由、此説ヨロシ
あら小田を
カハス

荒田ヲ報カヘスト云
フ意ニテカハス

○天路ヲツタヒ行クヨ
トツヅケタリ

○ヨソニモト云カケレハ
雲ハ速クヨソハ去ルモノナレバト

あまをぶね
ハツセ

金ハ土ノ下ニアル物
ナレバ土ノ下ニト云
マデニカ、リタルニ
勝間ニ曰、殿舎根ニテ地ハ殿舎ノ根ナル由、此説ヨロシ
あら小田を
カハス

荒田ヲ報カヘスト云
フ意ニテカハス

○天路ヲツタヒ行クヨ
トツヅケタリ

○ヨソニモト云カケレハ
雲ハ速クヨソハ去ルモノナレバト

あまをぶね
ハツセ

○ 逆ヨヨム 俗ニ同シ

○ カシコゲニ

○ リコウサウニ

○ 廿カシララストハ賢
人ブルナリ

○ ナルホドサウヨ

○ ダウリ道理

○ ソレダカニ

○ シカゾト云フニテ如

○ 此ト云フ意ハサゾト
オシハカルニハアラ
ズ

逆ヨヨム 俗ニ同シ

カシコゲニ

リコウサウニ

廿カシララストハ賢人ブルナリ

ナルホドサウヨ

ダウリ道理

ソレダカニ

○ 幸男ノ義持スル人ヲ
云

○ ソレナリ

○ ソノマハ

○ アラタメテ

○ フタハヒ

○ タエテ

幸男ノ義持スル人ヲ云

ソレナリ

ソノマハ

アラタメテ

フタハヒ

タエテ

○アキラカニ

アキラカニ

カバ

○サヤノト風ニ鳴ル
フ云

カバ

マコ

○ソノ通り

マコ

マコ

○ソレデ

マコ

○サウシテオキ

サウシテオキ

サデ

○サデハ和名抄ニ據ラ
ヨリサスハ俗ニモスクト

サデ

サレ

○水中ノ細石ナリ

サレ

サハ

○サハラハ小キ藤五ハ
美キ慈月ノ異名也

サハ

サウ

○サウトモ

サウ

○ソレホドニモ

ソレホドニモ

○サウシナガラ

サウシナガラ

○サレハ桑語ハノン延
ノ町ノノソリノノナ

サレハ桑語ハノン延
ノ町ノノソリノノナ

○ソレハドウデモカマ
ハマ

ソレハドウデモカマ
ハマ

○サウハ云フモノ、
○サハアリナガラ

サウハ云フモノ、
サハアリナガラ

○流離ヲヨメリ所ヲハ
ナレサマヨフニ又左選ヲモシカ云ヘリ。

流離ヲヨメリ所ヲハ
ナレサマヨフニ又左選ヲモシカ云ヘリ。

冠辞ニ部

○後モ達シヘカケタル
ハカツラノ長ク延ヒ
別レテハ末マタハヒ

後モ達シヘカケタル
ハカツラノ長ク延ヒ
別レテハ末マタハヒ

○近江ノ志賀ノ郡ニア
ル地ノ大名ナル故其
辺リノ地ニハスベテ冠ラセタリ。

近江ノ志賀ノ郡ニア
ル地ノ大名ナル故其
辺リノ地ニハスベテ冠ラセタリ。

○管蟹ハ蜘蛛ノ別名ナレバサ、ガニノクモト重ネ云ヒシニ又統部ノ丸恭ノ米ニ佐瑠鐵泥トカキタルハサ
ハノ根ノクミカラミタルヲ跡リ名ニ云ヒカケタルカト或入ノ説ヲアゲタリ。

ナギハル

ハツ

○サキクサ(福草)ハ一ツノ莖ノ末ニ三ツノ枝アリ故ニミツト云稱ニ冠ラセタリ。莖ニ三枝アリサキクサトヨムベシ。今ハ音便ニテサイグサト云フナリ。

幾の部

万 *〜*

夫 *〜*

千 *〜*

百 *〜*

十 *〜*

一 *〜*

○競ヲヨム。キノヒアフ

きぬ

○木々ナリ。遠鏡ニ一ツ

ニナツテ寐テ居タフ

タリノ者ルモノガ別

々ニナツテ別レルガ恐シト叙レタリ。是ニテヨク聞

きかく

○聞ク人カクハクヲ延

ベタル也

きたなし

○俗ニ同シ

きまよ

○競ヲヨム。キノヒアフ

ナリ

きぞの夜

○昨夜ヲ云

きつ

○狐ナリ

きえりハリ

○キエカヘリノカヘリ

人 *〜*

万 *〜*

同 *〜*

万 *〜*

万 *〜*

伊物 *〜*

古 *〜*

美々部

○ 御代トカヤリミト
シロ小田ハ神田

○ 道ニクツイデハフリ
ハ解リ

○ 指ニテハダラツムヲ
云ツムハ俗ニ云ツメ
ルハ我身ニ引クラバ
テ他ノ上ヲ思ヒヤル
トニ云ヘリ

○ 古今集伊勢物語等ニ
見ユル身ヲシル雨ヲ
泪ノト云ハアタ

夕かけの雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

○ 濡標ヲヨム水ノ浅源
ヲハカル杭ハ俗ニミ
ヲジルシト云ヘリ

○ 我命ヲステ、モノ意
多クハミラツグシ深
瀬ニ通ハセテヨメリ

○ 水ニ隠ル、水ヲ
ト云例多シ

○ 奥義抄ニミタマノフ
ト云ハ亡人ノ恩徳ヲ
報ステテ年ノ終ニ是
ヲ祭ル下人ハミタマ
祭ト申ス公家ニハ
神前祭ト云トアリサ
レド本トミタマノフ
ニト云フ詞ハ恩類又
皇靈ヲ訓ス御霊祭ノ
義ニ非ス曾丹集ニミ
タマノフニト云フハ
誤ニ

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

あつたての雨の音は しのびに しのびに しのびに

○ いたやうり
御田屋守ナリ。御田
ハ代々大神宮ニ寄附
セラレシ田ヲ云。

○ 瑞齒グム人。中世三ツ
輪クムト説ルハ非之。
水ハ汲ムト云カケタ
ル歌ニテモ知ルベシ。

○ 水ニ生スル草ヲ云。

○ 皆ナガラシ。コトバク
ノ意。

いたやうり
御田屋守ナリ。御田
ハ代々大神宮ニ寄附
セラレシ田ヲ云。

瑞齒グム人。中世三ツ
輪クムト説ルハ非之。
水ハ汲ムト云カケタ
ル歌ニテモ知ルベシ。

水ニ生スル草ヲ云。

皆ナガラシ。コトバク
ノ意。

○ フクハルヲ延タルニ
ラリノ均ルナリ。

○ 兼ノ代ニキル夜ニ和
名抄ニ雨衣ト見ユタ
リ。

○ ミツサハ真草ノツサ
ト云。同。ミツサノ

○ 万葉ニ風流士遊士ナ
ドカケリ。俗ナタヌ人
ヲ云。

フクハルヲ延タルニ
ラリノ均ルナリ。

兼ノ代ニキル夜ニ和
名抄ニ雨衣ト見ユタ
リ。

ミツサハ真草ノツサ
ト云。同。ミツサノ

万葉ニ風流士遊士ナ
ドカケリ。俗ナタヌ人
ヲ云。

ミヤノの富士
○比叡山ヲ云

見ナモ見ナイヲモ
○見ナモ見ナイヲモ

ミヤノ
○神衣ヲ云

○常帛ヲヨム又サナリ
神前ニ捧ルモノヲ云

○砌ヲヨム石ダノミ
然ルヲ後カタハラト
云ホドノコニ云ハ誤

我々... 部

...

...

...

...

ミヤノ
○水溢ナリ

ミヅ垣の

○磯城瑞籬宮シキミツ
カキノミヤハ上ツ代
ノ中ニモコトニ名高ク久キ昔ノ御代ノ一ナレバカク冠ラセシナルムシ

ミヅの池の

○ウタカタハ水上ニウ
カフ池ヲ云ソナハノ池ノウタカタトツミツミツ

ミヅの

○水身ノ鴨トイヒ又其
鴨ノ青羽ト云カケタ
ルナリ

...

冠辞ニ部

...

...

...

...

...

ト

○まどろ
○マトマラス丸ル、カ
タナヲ云

○まどけち
○アドケナシ
○イクダナシ

○まろ
○イナシルシノ略ナリ
アキヲカニ同シ

○まろ
○イナシルシノ略ナリ
アキヲカニ同シ

まどろ

マトマラス丸ル

まどけち

アドケナシ

イクダナシ

まろ

イナシルシノ略ナリ

○まろ
○まろヨム草木ナドノ
シタルノ意ニ同シ
ヨリハシラフラス
ボル意ニハ非ス

○まろ
○まろヨム草木ナドノ
シタルノ意ニ同シ
ヨリハシラフラス
ボル意ニハ非ス

○まろ
○まろヨム草木ナドノ
シタルノ意ニ同シ
ヨリハシラフラス
ボル意ニハ非ス

まろ

まろヨム草木ナドノ

シタルノ意ニ同シ

ヨリハシラフラス

ボル意ニハ非ス

まろ

まぎのてねづき
 〇 晴ハアカツキニ羽タ
 ハネガキハ羽タノキ
 ナリ。

一色
 〇 標ヲヨメリ標ハシル
 シルコノヲトシルシ
 キメオクノ意。

まひて
 〇 強ヲヨム
 〇 ムリニ

〇 ゼヒ

まひての神
 〇 喪服ヲ云

たのむるのてねづき
 〇 晴ハアカツキニ羽タ
 ハネガキハ羽タノキ
 ナリ。

一色
 〇 標ヲヨメリ標ハシル
 シルコノヲトシルシ
 キメオクノ意。

まひて
 〇 強ヲヨム
 〇 ムリニ

〇 ゼヒ

まひての神
 〇 喪服ヲ云

まひて
 〇 管ヲヨム身ヲタノク
 ムナニコノニハ霜ニヨセタリ。

まひて
 〇 若木又若枝ヲ云

まひての

〇 タハハ務ニ布ヲ云ソ
 メヌ布ノ木其外スニテ白キ物ニ冠ラセタリ。

まひての

〇 俵文(シヅ)ト云フ布ヲ
 オラン料ノヲダマキハカズ多キニエカズトツシヤタルニ

まひての

〇 前一同シシツト云フ
 通フマハイヤシトツシヤタルニ

たのむるのてねづき
 〇 晴ハアカツキニ羽タ
 ハネガキハ羽タノキ
 ナリ。

一色
 〇 標ヲヨメリ標ハシル
 シルコノヲトシルシ
 キメオクノ意。

冠 辞 之 部

まひての
 〇 タハハ務ニ布ヲ云ソ
 メヌ布ノ木其外スニテ白キ物ニ冠ラセタリ。

まひての
 〇 俵文(シヅ)ト云フ布ヲ
 オラン料ノヲダマキハカズ多キニエカズトツシヤタルニ

まひての
 〇 前一同シシツト云フ
 通フマハイヤシトツシヤタルニ

ハヒタル

むづ

○マツタリトヌル

神のたつたるとぬる

ひつぎ

○日次トカケリ

云、ミツギモ月シ

日次トカケリ

ひつぎ

むつぢ

○權和名於路賀於此俗

云此豆知自生稻也ト和名抄ニ見ニ刈ヲタル株ニ自生シタル稻ナリ

むつぢ

○終日

いねみす

いねみす

○葉ヲヨム木ノキリカ

いほぢえ

いほぢえ

フヨリ出ル芽ガシヲ云ノリ

フヨリ出ル芽ガシヲ云ノリ

ひさよ

○久ク之万葉ニモ見ニ

ひさよ

むきまゆ

○和名抄ニ獨蛋比岐万

遊トアリヒキタルヒトヌサノニホネ

むきまゆ

むかぐかり

○曇リ日ノ影ハウスケレバウス日ト云意ニイヒカアタリ

むかぐかり

むさかしの

○天ノ形ハ都モサゴノ

むさかしの

内ノマロクムナシキ

むさかしの

冠律部

ニ似タレバ、タトハナ 郵形(ヒサカズ)天ト云ナラジト 縣居翁考ラレタリ、光ロドケキハ空ヲ省キタルニ

毛ニ部

オトモトニ

○トモトニ

オトモトニ

腕ヲヨム、俗ニ同シ。

○腕ヲヨム、俗ニ同シ。

腕ヲヨム、俗ニ同シ。

導ラズ、かざー抄ニフ

○導ラズ、かざー抄ニフ

導ラズ、かざー抄ニフ

○導ラズ、かざー抄ニフ

導ラズ、かざー抄ニフ

ルニ思フヤウニナラ
ヌノ意次ノモドカシ
ヲ合セ考フベシ。

カクセント思テモサ

○カクセント思テモサ

カクセント思テモサ

オモテニアラハレズ

○オモテニアラハレズ

オモテニアラハレズ

オモテモリラル意歌

○オモテモリラル意歌

オモテモリラル意歌

ニ文字ソハルハ、昔

○ニ文字ソハルハ、昔

ニ文字ソハルハ、昔

通ノ故ノ意トナル

○モノニアリナガラ

○ニアノ約ナナリ

○俗ニ云モシソレニテ
ハナキユナド云モシ
ナリ

○百千鳥ニハサマザマ

ノ説アレド取ルニ足
ラズ春鳴ク諸鳥クマナリ

○鴉一名鶴和名モ受

○草グキハ、蹶昭ノ説ニ

クサグヱリト云ヘ

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

リ古事記ニ五白、手取瀬出ニ々々、
トアリクキハク、
リノ古事ナレノ之ヲ以テ、
スミシ

冠辭ノ部

カノ、ぬの

ヤソウダ川

ウダ川

ヤソトモノヲ

○千ハヤ人ト云ニ同ク、宇治ハイツ、
ハ諸臣ヲサシテヨメル最多シ、
故ニモノ、フツ冠ヲセシ

カ、
スギニシ

○木ノ葉ノ散リ通ルヲ、
人ノ此世ヲ過キ去ルニ、
タトハタリ

カ、
オホミヤ

○百ノ石城ノ大宮トカ、
クタルノ大内ノ、
ノ後ニ、
シキヤノ、
ノ

世ノ部

○鉄ヲヨム、
今云キヤシ

~~~~~







ツガレクマナド云  
ヒカケタル

ツガレクマナド云

〇 倭語ノ岸ト来リト同シ者ニエ云ヒカケタル

ツガレクマナド云  
ヒカケタル

ツガレクマナド云  
ヒカケタル

雅言解卷四終

明治十二年四月十日  
版権免許

定價金壹圓

明治十四年十月出版

東京府士族

編纂人

鈴木重嶺

東京府士族

出版人

渡部温

東京府平民

發兌書肆

稻田佐兵衛

東京日本橋區

日本橋通三丁目二十番地

渡部温譯述

通俗伊蘇普物語

全六卷 定價一圓五十錢

此書ハ、ギリシヤ國ノ古哲イソップ先生ノ喩言ヲ、村童野婦ニモ解シ易キヤウ、俗文ニテ譯シタル脩身教話ノ冊子ナリ、諸學校ニテ童蒙ノ訓話ニ用フルニ宜シ。

丁建良著 渡部温訓點

勸善喩道傳

全一卷 定價二十五錢

此書ハ、人ハ天カノ子トナレバ、敬天為善以テ其望ニカナヒ、其恩ニ報イザルベカラザル旨ヲ、近ク取リテ譬ヘタル西教ノ道話本ナリ、教道ニ志ス人ハ必ス讀ミ給フベシ。

中田敬義譯

北京官話伊蘇普喩言

全一卷 定價七十錢

此書ハ、清國北京語ヲ以テ、通俗伊蘇普物語ヲ轉譯シタル、外國語學校ノ教科書ナリ、漢語學ヲ學ブ者ハ、必不是ヲ以テ階梯ト為スベシ。



新版 曲亭馬琴戲作序文集 全一卷 定價二十五錢

此書ハ名ニシ負フ養笠翁生涯ノ戲作ノ最モ巧妙ナル序  
文ノミヨ集メ和文ノ作例トナルベキ者ナリ

男女之義務

全一冊 定價六十五錢

此書ハ米國骨相學大博士ヲウラハ氏ノ著ハセルク  
チフエントセキユアルサイエンストヲ譯シタル者ニ  
テ、男女精神ノ愛交構ノ要孕胎ノ理ヲ論述セリ、兩性壯年  
ノ者一讀セハ其益殊ニ多カヲニ、世間猥褻ノ書ト同様ニ  
看過シ給フ勿レ

雅言解

全四冊 定價壹圓

此書ハ雅言彙覽和訓採ノ類ニシテ、以呂波ノ順ニ集メ、倭歌ヲ引証ト  
ナシ、俗言ヲ以テ解シ、易キ様說キ明シタルモノナリ

